

経営比較分析表（令和5年度決算）

千葉県長生郡市広域市町村圏組合（事業会計分） 公立長生病院

| 法適用区分 | 業種名・事業名 | 病院区分 | 類似区分 | 管理者の情報 |
|-------|---------|---------|---------------|------------|
| 宗例全部 | 病院事業 | 一般病院 | 100床以上～200床未満 | 自治体職員 |
| 経営形態 | 診療科数 | DPC対象病院 | 特殊診療機能 ※1 | 指定病院の状況 ※2 |
| 直営 | 15 | - | ド訓 | 救護 輪 |
| 人口（人） | 建物面積（㎡） | 不採算地区病院 | 不採算地区中核病院 | 看護配置 |
| - | 12,701 | 非該当 | 非該当 | 7：1 |

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

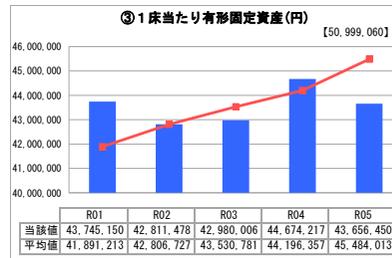
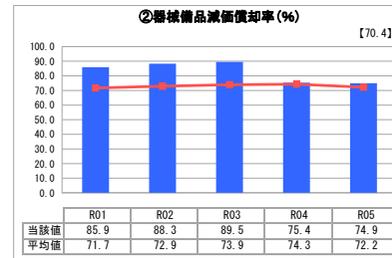
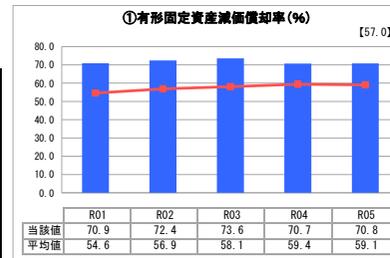
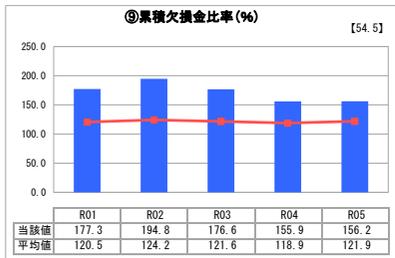
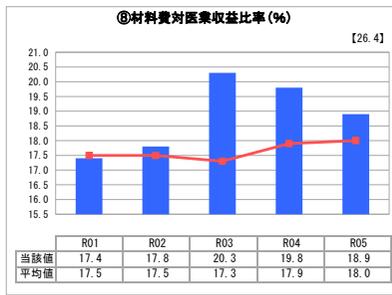
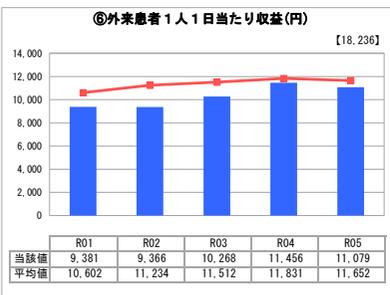
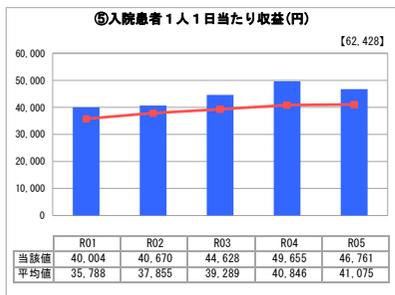
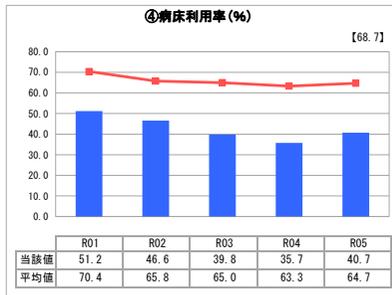
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

| 許可病床（一般） | 許可病床（療養） | 許可病床（結核） |
|------------|------------|---------------|
| 180 | - | - |
| 許可病床（精神） | 許可病床（感染症） | 許可病床（合計） |
| - | - | 180 |
| 最大使用病床（一般） | 最大使用病床（療養） | 最大使用病床（一般+療養） |
| 127 | - | 127 |

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

| 細分化・連携強化 (年度の別 - ネットワークを含む) | 地方独立行政法人化 | 指定管理者制度導入 |
|--------------------------------|-----------|-----------|
| - | - | - |
| 年度 | 年度 | 年度 |

I 地域において担っている役割

- 救急医療/長生郡市の2次待機病院を週3日担っており地域の救急医療を支える役割を担っています。
- 災害医療/当地域に災害拠点病院がないことから市町村と協定を結び、広域医療救護所として負傷者を受け入れる役割をこなしている。
- 一般診療/当地域有数の総合病院として一次・二次の地域医療に対応している。
- 予防医療/高齢化の状況を鑑み、健診や人間ドック等による疾病の早期発見・早期治療を行うことで地域住民の健康管理を行っている。
- 医療連携への取り組み/一般の開業医からの患者を受け入れられる体制を整えるとともに、高度急性期病棟からの下り患者受入の役割をこなしている。
- 難病相談/県からの依頼を受け、長生夷隅地域の難病相談支援センターの役割をこなしている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

外來は、新型コロナウイルス収束に伴う発熱外来患者数の減により収入減となったものの、入院はG病棟の再開等により収入増となった事で、医療収益は増となったが、前年度に更新した医療情報システム分の減価償却費の増等により、費用も増加したことで、医療収支比率は前年度とほぼ変わらない数値となった。一方、医療外費用である修学資金貸付金免除額の大幅な増により、経常収支比率は悪化した。

職員給与費対医療収益比率が類似病院と比べ依然として高い水準にあることから、更なる費用の削減に加え、医師の確保や救急体制の充実、病棟・病診連携等による患者数及び収益の確保が課題となっている。収益確保や費用の削減については、あり方検討委員会が策定した中長期ビジョンや、具体的な行動目標を定めたアクションプラン、及び「入院患者100人プロジェクト」等に基づき取り組んでいるところである。

2. 老朽化の状況について

老朽化の著しい棟については、あり方検討委員会の答申において築40年以上が経過しており、新耐震基準を満たしていないこと等から病床規模や病院機能に応じた適正な規模について検討し、改築計画の早期計画が望まれるところであり、建設工事年度の変更等から改修工事が進まず、対応年数を越えての使用となり、有形固定資産減価償却率は類似病院と比べ高い水準にある。

設備投資や施設の更新のためにも、中長期ビジョンやアクションプラン及び公立病院経営強化プランに基づいた経営改善による財源の確保が急務となっている。

全体総括

令和5年度は、新型コロナウイルス収束に伴う、外來収益の減、及び特別利益の大幅な減等により赤字となった。

経営の改善をしていくうえで、医師看護師等の確保、収益の確保、経費削減等が主な課題として挙げられた。

これらの課題を解決するために、令和2年にあり方検討委員会により策定された中長期ビジョンやアクションプランに基づき経営改善の方策等を着実に実行すると共に、令和5年度策定された、公立病院経営強化プランに基づき、地域の開業医及び高次医療機関との医療連携を図る。また、令和5年度から院内の組織として、経営企画管理室を設置しており、院内の連携強化も進め、診療科別入院目標設定（入院患者100人プロジェクト）を行い、入院患者数の増加が見込まれており、引き続き収益の確保に努め、健全な経営環境を目指す。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。